



社労士の日常とは？

～労働分野のコンサルティングで大事にしていること～

企業が成長するためには、「お金」「モノ」「人材」が必要とされますが、社会保険労務士（以下、社労士）は、その中でも人材に関する専門家です。具体的には、企業における「労働や社会保険に関する諸問題」の解決や年金に関する相談など、幅広く行います。労働分野のコンサルティングを担当する、というイメージが湧きやすいでしょうか。

このように文字にすると簡単ですが、人に関する相談事は多岐にわたるため、私も日々を忙しく過ごしています。しかしこの忙しさが、とても心地よいのです。それは、なぜか？

自分の学生時代を振り返ると、「楽しい」や「うれしい」といった感情を抱くのは、いつも誰かの役に立ったときでした。そう考えると私にとって社労士は、「心の底から楽しめる仕事」、まさに天職なのかもしれません。

社労士になった当初から、今も変わらず心がけていることがあります。それは、「相手の立場で物事を見る」ということです。1日に複数の顧問先であらゆる相談を受けますが、働く環境や人が違うように、その内容も大きく異なります。そんなとき、これを意識することで、早急に問題解決のヒントが見つかることもあるのです。

先日もある顧問先の社長から、従業員についての相

談を受けました。ひととおり話を聞いた後、まず「自分がこの会社の従業員だったら、どう感じるか？」と両者（社長・従業員）の立場で考えます。すると一気に視野が広がり、会社にとってベストな答えにたどり着けるのです。

そんな私が、この仕事で最もやりがいを感じられるのは、悩みを抱えている経営者や人事担当者に寄り添い、問題を解決し、笑顔を見ることができた瞬間です。そして、「山崎さんと一緒にいると、元気になります」という言葉を頂くこともあり、それがパワーの源になっています。

最後に、私のとある1日のスケジュールをご紹介します。所属団体の活動もあり、あっという間に1日が過ぎてゆきますが、こんな日こそ新たなアイデアが浮かんだり、効率的に仕事が進みます。

これからも人に寄り添い、「自分が関わる人や会社、すべての皆さまを幸せにしたい！」という想いを持ちながら、毎日楽しく過ごしてゆきたいですね。（特定社会保険労務士 山崎 香織）

山崎氏の事務所 HP
はコチラから→



社労士 山崎のとある1日のスケジュール

4時00分：起床、お風呂掃除・洗濯・3人分（夫、双子の子ども）のお弁当作り

5時45分：移動

6時30分：経営者の朝の勉強会に参加

9時30分：事務所に到着、メールチェック

10時30分：顧問先とオンラインで就業規則についての打ち合わせ

12時00分：昼食（スタッフとランチミーティング）

13時00分：顧問先と労働時間の計算や体調不良の労働者に関する相談対応

15時00分：所属している NPO 法人の新規イベントの打ち合わせ

16時00分：電話対応・メールチェック

17時00分：社内の請求一覧の確認

18時00分：所属している一般社団法人メンバーとのオンライン会議

20時00分：帰宅、家族の夕食作り

21時00分：夕食の片付け・お風呂

22時00分：メールチェック

23時00分：就寝